

BERCニュース

発展するBERC活動

国際シンポや研究部会

発足6年、ふえる参加企業

経営倫理実践研究センター、BERCは、わが国初の経営倫理の啓発普及を目的として一九九七年に発足した専門機関だ。会長は水谷雅一（神奈川大学名誉教授、元一神奈川大学名誉教授、元一神奈川大学名誉教授、元一神奈川大学名誉教授）で、理事長は福原義春（資生堂名誉会長）が就任している。理事は、資生堂、富士ゼロックスなどの「維持会員企業」から構成されている。発足当初十五社程度だった会員企業数も六年を経た現在六十八社に達している。BERCの活動は、①経営倫理の実践に関する内外の情報・資料の収集・研究と必要な知識・情報と必要な国際提携・交流、②経営倫理の企業への普及啓発に

必要知識・情報・ノウハウの提供、③企業における経営倫理綱領の作成並びにその遵守徹底に関するコンサルティング、④企業における経営倫理に関する社員研修用の資料・教材・マニュアルの作成と提供、並びに講演会・シンポジウム等の随時開催、⑤企業のコポーレートガバナンスや新しい時代に求められる取締役・監査役の方に関する研究・指導サービス等の提供、⑥企業における経営倫理担当責任者の集合する合同会議の開催と担当責任者間の経験交流機会の提供だ。これらの多彩な活動の中であって、特に会員企業からの評価が高いものに年一回開催の国際シンポジウムと、月例開催の「研究部会活動」がある。年一回秋季に開催される「国際シンポジウム」は、一九九八年から毎年十一月に東京・国際文化会館で行われ、今年で第六回目を迎える。BERCの会員サービスの柱となるもので、海外からゲストを迎え、経営倫理の世界的な動向や今後の課題などについても講演やパネルディスカッションが行われる。

BERCニュース 創刊にあたって

BERC会長 水谷雅一



一九九七年秋に設立された経営倫理実践研究センター（BERC）は昨秋、創立5周年を迎えて盛大な記念式典（於ホテルオークラ）を行い、日本経団連の奥田会長や経済同友会の小林代表幹事（当時）を、お招きし

七社に達しBERCの主催する会員企業とのスタッフ相互間の経験交流と意見交換を中心とする定例の研究合は熱気に溢れ実りある相互研鑽の場となっている。しかし、BERCのこうした活動についても多くの企業にはまだ殆んど知られていない。経営倫理の仕組みづくりからその活用への移行に苦悩と戸惑いを感じる企業も多い。BERCの推進している経営倫理の啓蒙普及のための具体的な活動の存在についてのより一層のPRの重要性を痛感する次第である。

「経営倫理実践定着化セミナー」は、わが国で経営倫理に関して先進的な取り組みをしている資生堂、富士ゼロックスの経営倫理最高責任者と実務担当者

先行事例を紹介

経営倫理定着化実践セミナー

「日本で経営倫理の認知度がようやく高まってきたところだ。日本の経営倫理は今やセカンド・ステージに入った。今後の課題はその具体的な活用と強化で、定着化をはかること。」こう述

べる水谷雅一BERC会長の基調講演でセミナーは始まった。BERC会員企業の総合評価ランキングで第一位の資生堂と、第二位の富士ゼロックスから具体的な先行事例としての講演があった。資生堂の代表取締役副社長・清水重夫氏は、関連会社の不祥事で教訓を得たケースを紹介。会社の常識と一般市民の常識との「ズレ」を強く感じ、資生堂コード

「行動基準」を見直すきっかけになったと言った。企業倫理委員会を設置したが、大切なのは、市民倫理観が基本である、問題提起した。更に、同法務部長・桑山三恵子氏は、トップのコミットメントの重要性を訴え、自浄機能を高めるための風



①先行事例を紹介する清水重夫氏（資生堂）と②小山眞一氏（富士ゼロックス）

通しの良い企業風土づくりを強調した。一方、富士ゼロックスからは、専務執行役員・小山眞一氏が、「お客様の満足を一貫してめざしてきた」と説明。資本、人材、技術などの面で外部からの導入、統合を経てきたことを指摘した。

「研究部会活動」は「経営倫理を社内定着推進する」という一つの柱ともいえる。もう一つの柱ともいえる「4部会、活動中」

この「シンポジウム」は、BERCの「看板行事」の一つであり、毎年海外から経営倫理の研究者や世界的な企業の実務担当者などをゲストに迎えて行われている。BERC会員企業のための「国際シンポジウム」であり、現在、注目されているゲストスピーカーや経営倫理の専門家と話す貴重な機会にもなっている。

4部会、活動中

「研究部会活動」は「経営倫理を社内定着推進する」という一つの柱ともいえる。もう一つの柱ともいえる「4部会、活動中」

大阪でも講座

BERCの活動は会員企業を対象にしたサービスがメインであるが、経営倫理を広く社会に啓発するという考えから、広く一般企業向けにもセミナーが二つ用意されている。

6回目を迎える国際シンポ

毎年行われているBERC「国際シンポジウム」は、今年で六回目を数える。今年度は六回目を数える。今年度は六回目を数える。今年度は六回目を数える。

入会の申し込み

経営倫理実践研究センターで賛助会員の入会申し込みを受け付けている。
▽年会費五十万円
▽入会時に「経営倫理担当最高責任者」を登録する。
申し込み・問い合わせは経営倫理実践研究センター事務局へ。
電話03(5413)5897
FAX03(5413)5898

シネマ談話室



小津芸術、が、から演出しないに揺るがせる一点一画 (提供・松竹)

回顧随想 ライフ・ワーク としての経営倫理

BERC会長 水谷雅一

「偶然の出会いが契機」

一九七〇年代から九〇年代の約二十年間出張した海外諸国は六十カ国を超え、まさに席の暖まる暇のない生活や、私生活を後回しにする生活が殆んどであった。

一九七〇年代から九〇年代の約二十年間出張した海外諸国は六十カ国を超え、まさに席の暖まる暇のない生活や、私生活を後回しにする生活が殆んどであった。

一九七〇年代から九〇年代の約二十年間出張した海外諸国は六十カ国を超え、まさに席の暖まる暇のない生活や、私生活を後回しにする生活が殆んどであった。



赤瀬川 隼

当世勤人氣質(1)

赤瀬川 隼

マニユアル人間

「いまどきビジネスマンは…」

父の出勤姿を思い出すことがある。決まって僕が小学校に上がるか上がらな

亡父の出勤姿を思い出すことがある。決まって僕が小学校に上がるか上がらな

亡父の出勤姿を思い出すことがある。決まって僕が小学校に上がるか上がらな

人事

▽資生堂・秘書部長 内田 隆文(法務部長) ▽同
・法務部長 久保 宏(法務部次長)

編集後記

「身体」の重要性と「健康」の有難さを沁々と感じ、体調回復とともに健康を阻碍

「生活信条として、どうでもいいことは流行に、重大なことは道徳に、芸術のことは自分に従う」

「身体」の重要性と「健康」の有難さを沁々と感じ、体調回復とともに健康を阻碍

生誕百年 小津安二郎という人

還暦の誕生日に生涯を閉じるなんて、めったにないことだろう。映画監督・小津安二郎。黒沢明と並ぶこの巨匠は、一九〇三(明治三十六)年十二月十二日に生まれ、びたり六十年後の一九六三(昭和三十八)年十二月十二日、がんと

ことしは小津監督の生誕百年、没後四十年。マスコミは小津の「人と作品」にあらためて光を当て、ゆかりの各地で多彩なイベントが繰り広げられている。小津は原節子をヒロイン

「あれだけの人のために、飲み席でも威張らないし、優しい。普通、撮影現場では、陰で監督の悪口なんかよく出る。でも、小津組には、それがなかった。先生が亡くなってからも、悪口を聞いたことがない。こ

「あれだけの人のために、飲み席でも威張らないし、優しい。普通、撮影現場では、陰で監督の悪口なんかよく出る。でも、小津組には、それがなかった。先生が亡くなってからも、悪口を聞いたことがない。こ

「あれだけの人のために、飲み席でも威張らないし、優しい。普通、撮影現場では、陰で監督の悪口なんかよく出る。でも、小津組には、それがなかった。先生が亡くなってからも、悪口を聞いたことがない。こ